一、第四は、労農党の大臣罷免の諸案である。云々
△賀詞、右に対して森本（三重）、石原（大阪）より賀詞、
田部井より二、三答あり。
△討論、赤松一派の悪業の[illegible]の討論があつて可決、
一、宣言発表（須賀）

【宣　言】
労農党第二回全国大会は茲に光輝ある三百万[illegible]の闘争を[illegible]けるに当つて、全国の労働者、農民、無産市民、植民地民族に[illegible]に宣言する
今や資本家、地主の政府は全被圧迫大衆の生活と自由を奪ひ、全労働者資本の支配確立の[illegible]となし、一[illegible]産業合理化の政策の[illegible]行と帝国主義戦争の準備に狂奔してゐる

本大会はかゝる情勢の下に文字通り党内[illegible]の嵐の中に持たれた、だがそれに参加した全代議員は、全国の労働者、農民、無産市民、植民地民族に対する[illegible]なる[illegible]責任を[illegible]し、[illegible]身をもつて大会を[illegible]り、[illegible]の支配[illegible]の[illegible]に[illegible]して全[illegible]大衆のために万丈の[illegible]を[illegible]げ、わが党の[illegible]を[illegible]とし大衆[illegible]の最前に展開した、

かくて本大会は一[illegible]の[illegible]主義者の[illegible]に[illegible]つてゐる[illegible]を[illegible]して、わが党の本[illegible]と[illegible]方向を究明し、[illegible]の[illegible]を[illegible]め、一切の[illegible]の方針を確立した、更に大衆の[illegible]たる[illegible]である全[illegible]に対する[illegible]不[illegible]の[illegible]を[illegible]示した、本大会は全員一致[illegible]くまでそれら一切の方針を[illegible]守して、この[illegible]から全民衆の先頭に立ち大衆と[illegible]く腕を組んで[illegible]なる[illegible]の[illegible]闘争に[illegible]し、[illegible]日に向つて[illegible]することを[illegible]ふものである
一九三〇年十二月二十一日
労農党第二回大会

賀

△合同協議委員任命
委員、稲村、山崎（剣）、須賀、宮崎、吉原、吉田、
高橋、宮島、柏原、田部井、中村、石原、永井、
山花、[illegible]
一、農民組合統一対策樹立の件、
右に対する総会（保石）より討論、細田、中村より
あり、本部案賛成、可決
△職業者解放の報告（議長）
△動議、　貿易者[illegible]の件　（山花）
慰問委員　大山、田部井、稲村、宮崎、石原、
慰問金募集（幅子[illegible]）金十九円二十三銭、
一、建議案委員会報告（木村）
残余の議案を一括して新中央執行委員会へ